

続ボラッチョ・ボニートのメキシコ便り(No.06)

「三月なかば、日差し燦燦と輝き、花は咲く」

・・・ハカランダの花盛りです・・・

一月中旬に着任した当時、注意してみないと分からない程度に、紫色の清楚な花を見かけたと思っていたら、二ヶ月たった今では、市内のいたるところで、自然と目にはいるほどあちらこちらで咲いている花がある。

ハカランダという花で、母親のかけで恥らっていた子供が、成長し堂々とその存在を表したような感じである。長い冬を終え春が待ち遠しい国では、諺にいわく、

「**A quince de marzo, da el sol en la sombría y canta la golondrina**」(ア キンセ デ マルソ ダ エル ソル エン ラ ソンブリア イ カンタ ラ ゴロンドリナ と発音し、直訳は三月の15(なかば)、日差しは日陰にも差し、ツバメはさえずるである)のような想いが、素直な感情発露として湧いてくるのではなからうか。タイトルは今回のテーマにあわせて諺から少し変えた。

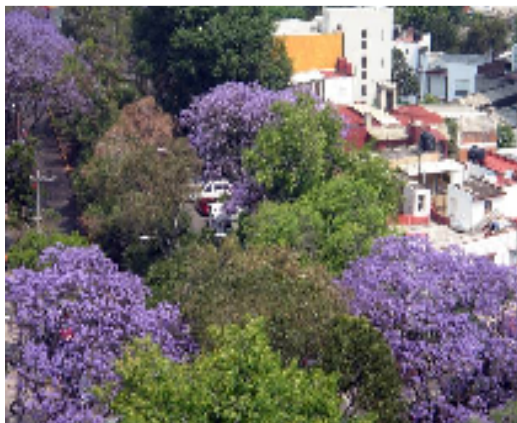
この花が咲き出すと、いよいよ春の訪れであるが、当地では、四季どころか二季ぐらいにしか感じられず、しかも一日でこの二季が来る気候では、実感として日本の春の訪れという感じはしない。



サイズは、大人小指第2関節くらいまでの大きさである

ハカランダの花は筒状で、桜のように一気に咲いて一斉に散る花ではなく、徐々に咲き、1月から4月中旬頃まで咲くという花で、その散り方自体は、桜のように多くの花びらが、「ハラハラ」、「ヒラヒラ」という感じで散ってくるのと違い、こちらは時々、「ポタ」とも違う、「ポタ！」という雰囲気の一つずつ落下してくる。

擬態語で表した、これらの花の散り方の微妙な違いを職場の人に説明するのに苦労した。状態や感情などの音を発しないものを字句で模倣するのは、日本語の特徴でもあり、当方はこれらの擬態語に関連するボキャブラリーの不足と、相手は桜を見ていないから、最初から話がかみ合うはずは無い。



これだけ長い期間咲いているため、ハカランダが完全に散り終わる頃は、当地はもう初夏に入り、暑い日や雨季がやってくる。

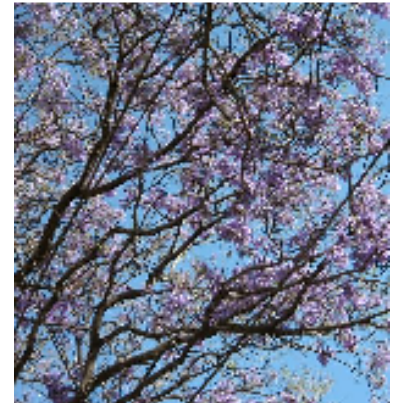
いわば、この花(木)は、春の訪れや夏の訪れをも、知らせてくれる、重要な二役を演ずる木と言える。

「放浪記」を書いた、林芙美子さんは、「花の命は短くて、苦しきことのみ多かりき」と詠ったが、この歌で意味する「花」は直接的な花でなく、いろいろな意味が込められているとはいえ、ハカランダはこの絶望感ただよう歌とは、対極の位置にあるだろう。(いや！名前がハカランダだから人生と同じく、はかない・・・嘘でしょう)

また、「徒然草」(吉田兼好著)(137段)にある、「花は盛りに、月は隈なきをのみ、見るものかは」(桜の花は満開のときばかり、月は満月ばかりを見るものか?いやそうではない)とも、桜をハカランダに変えたとしても、微妙にちがう。

色々な意見や感想はあるだろうが、日本では日本で愛でる花があり、同様にメキシコに咲く花は、タイトルに記したように、日が燦燦と輝いている所に似合うとしか言えない。

2年前にメキシコ国内を旅したおり、ガイドがこのハカランダは、日本人が南米から持ち込んだものだと言っていたが、真意のほどは分からない。本当だとすると、生態系の破壊だなどと、つまらない論議は入る余地さえないほど、何と素晴らしいことだろう。



原産地は南米のアルゼンチン、ボリビア、ブラジルあたりだという。移民として南米に渡った日本人が、桐の花に似ていることから、「桐擬き(キリモドキ)」と言って愛した花ともいわれるのを聞くと、ボラッチョ・ボニート氏が、子供の頃おばあちゃんから聞いた、「女の子が生まれたら、庭に桐の木を植えるのだ」という話を思い起こすと、もしかしたら当時の移民の方が、この話も動機のひとつとして考えて、実践したのではないかと、想像が膨らむ。

時あたかも、今年日本とメキシコ交流いわゆる、「日墨交流400年の年」でもあり、この長い歴史の間には、このハカランダの話や、「番外編」2に記した話に類する、時空を超えたロマンのある話が数多くあるに違いない。もっと多くのことを知りたい欲望が湧いてくる。(2009年3月15日)(諺と同じ日に書きました)

番外編:

1. 上記諺の中にある、「**La golondrina** (ツバメ)」という、そのものずばりのメキシコ民謡がある。従って、メキシコにもツバメはいるのだろうが、私は見かけたことは無いので、タイトルを諺から少し変えた。哀愁を帯びた曲で、先回の便りで紹介した、「ベサメ・ムーチョ」と同じく私の好きな曲の一つである。

時により送別の曲としても歌われるという。

2. 日本とメキシコ交流に関しては、千葉県御宿町HP(<http://www.town.onjuku.chiba.jp/>)の“交流”を参照してください。彼の地には、遭難したメキシコ船員救出記念碑も有ります。



当地では、この花もハカランダと同じく、あちらこちらで咲いています